

常盤平団地は危機的状況 市は地域再生計画を急げ

松戸市議会6月定例会において、みのわ信矢は施政に関する一般質問を行うため、議場に登壇いたしました。そこではいくつかの課題や問題を指摘しましたが、中でも力点をおいたものが常盤平団地の窮状です。いくつもの問題が山積する同地域ですが、それらを放置しておけば、常盤平地域は社会的な地盤沈下を起こし、衰退の道を歩んでしまいます。

みのわ信矢が、常盤平団地の課題について一般質問で切り込んだことで、さまざまな状況が明らかになりました。その中で特に衝撃的だったものは、高齢化率(住んでいる方のうち65才以上の方の割合)はなんと50%を超えていることが明らかになった点です。また、外国人の居住率の高さも大いに気になります。市内全体では4%程度の外国人居住率ですが、常盤平団地においては実に11%にも及ぼうかという水準に達しています。これは、市全体の約3倍近くになる勢いです。常盤平が今後も安全安心な街であるために、市は早急に地域再生計画を立てるべきです。



住宅地として極めて良好な ポテンシャルを持つ常盤平

常盤平団地が入居開始となったのは、昭和35年のことです。当時の我が国は高度経済成長の真っただ中にあり、戦後復興が実現しつつある時代でもありました。仕事を求めて、全国からたくさんの人たちが東京都心にやってきたため、当時の政府は、住宅を大量に供給する必要がありました。その時、いち早く名乗りを上げ大型開発に取り組んだのが常盤平地区だったのでした。

最先端の技術で醸成された区画に、最新の設備を備えた住戸が約4,800戸整備され、多くの方々があこがれを抱いた住宅地になりました。さしずめ、現在のタワーマンション群に匹敵するほどの羨望を集めていたのです。そして、なんといっても地盤が強

固であるため、災害に強い点は、住宅地として最も大きな利点と言えるでしょう。このように高いポテンシャルを持つ常盤平を、行政の無策によって衰退させてはなりません。かつての繁栄を取り戻すべく、常盤平再建に向かう必要があります。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年6月29日生まれ
- 出身地 松戸市常盤平
- 学歴
昭和55年 常盤平第1小学校 卒業
昭和58年 青山学院中部部 卒業
昭和61年 青山学院高等部 卒業
平成2年 青山学院大学
経営学部経営学科 卒業
- 主な議会経歴
松戸市議会議員 5期目
松戸市監査委員
教育環境常任委員長
都市整備常任委員長
予算審査特別副委員長
決算審査特別副委員長 など
- その他の主な経歴
中央学院大学 法学部 非常勤講師
松戸市子ども会常盤平地区 会長
松戸市立常盤平中学校PTA会長
松戸青年会議所 常任理事